

12/16 図書館等整備工事
安全祈願祭



令和5年9月完成を目指す図書館等整備工事の安全祈願祭が行われ、待ちに待った新しい図書館、水彩画記念館の整備がはじまりました。

12/18 庄内町フラワーアレンジメント
親子教室



みうら生花店・花蔵（鶴岡市）の三浦淳志さんを講師に、町内の小中学生とその保護者が、カーネーションや町産のストックなどを使い制作しました。

12/19 男性必見！パパ向け
ベビーマッサージ教室in町湯



10組限定の募集は告知直後に満員に。パパたちは我が子の名前を呼びながらマッサージを行い、教室終了後は託児をして、温泉でゆったりできました。

12/22 いまさら聞けない？！
冬の運転のいろは講座



冬の運転に不安を感じる方の参考になればと、地域おこし協力隊の國本美鈴さんが企画。安藤整備工業様の方より、具体的な雪道運転のアドバイスを聞きました。

12/23 親子ふれあい
きらきらコンサート



子育て支援センターこっころで開催。0歳から4歳までの子とその保護者25組が、ヤマハ音楽教室の方によるクリスマスメドレーの演奏などを聴きました。

12/24 「清河八郎」大河ドラマ誘致
協議会 四役会議



清河八郎が主人公の大河ドラマ実現に向け、11月に行ったNHK山形への要望活動を阿部武敏会長（廿六木）が同会役員に報告。今後の活動の意見を出し合いました。



地域おこし協力隊

歴史の里・清川から地域おこし隊 (historia curator) ヒストリアキュレーター
たまこしひろし 玉越宏さん (兵庫県姫路市出身)

玉越さんは、「歴史の里・清川」に新しい魅力、価値を生業を生み出し、希望を描いていくために、住民と共に清川地区の歴史・文化資源を生かした、観光交流人口の拡大による地域活性化を目指すヒストリアキュレーターとして活動していきます。

Q 地域おこし協力隊に
応募したきっかけは？

協力隊に着任する以前、趣味の旅行をしている際に、庄内町を訪れたことがあります。その時は「ほしがきさん」というスイーツを求め清川駅で下車したのですが、あの時立ち寄りなければ協力隊になっ ていなかったかもしれませぬ。その後、勤めていた東京のホテルが、新型コロナウイルスの影響で閉館することになりました。その際、当時庄内町の協力隊だった高木さんのSNSを通じ、清川地区に根ざした協力隊の募集があることを知りました。旅行でたまたま立ち寄った場所でしたが、観光資源に恵まれた地域という印象が強く残っており、協力隊の活動に興味を持ちました。そこで次のキャリアは「新しいことをしてみたい」という自分の気持ちを優先し、応募しました。

Q どんな活動をして
いきたいですか？

まずはSNSでの情報発信に力を入れたいと考えています。清川地区の風景に加え、地域活動なども発信しています。清川歴史公園のSNS（インスタグラム、ツイッター、フェイスブック）を是非フォローしてください。観光需要が下火になる冬期も、清川の雪景色を活かした新たな観光資源を掘り起こしたいです。冬があげたら、清川歴史公園の展示に力を入れていきたいです。今年酒井家庄内入部400年の節目の年なので、関連した展示や、清川歴史公園から松山伝承館など、タクシーや鉄道で巡る観光コースを設定したいと考えています。他の地域の人のだけでなく、庄内町の人にも地元の良いところを伝えていきたいです。

Q 庄内町に暮らして
みてどうですか？

見ず知らずの私に快くあいさつしてくれる人の多さや、高齢の方がいきいきと地域の活動に参加していることなど、東京では珍しいことが多く、とても驚かされました。ただ、車がないと食料品すら買いに行けず、車無しの生活は大変だと感じました。東京では車に乗ることはほとんどなかったのですが、特に雪道での運転は不安ですが、克服したいと思っています。

Q プライベートで楽し
みたいことは？

ラーメンが大好きなので、庄内町のラーメンを楽しみたいです。たくさんお店を巡って、好みのラーメンを発掘したいです。